

琵琶湖博物館第2期リニューアル後の展示交流空間
および県内各地のフィールドへ誘うための活動について

1 第2期リニューアル後の展示交流空間について

第2期リニューアルにおいて下表の施設を整備し、引き続き誰でも気軽に訪れることができる博物館を目指す。

施設 の 名 称	施設 区 分	施設 の 特 徴
ディスカバリールーム (D 展示室) ※H30.7～	常設展示室 (有料空間)	現在の A～C 展示室および水族展示と同様、 <u>博物館所蔵の実物標本や剥製、研究成果を展示するとともに、解説や映像を用いて学びと発見を促す常設展示室</u>
おとなのディスカバリー (E 展示室) ※H30.7～	常設展示室 (有料空間)	【参考：常設展示とは】 博物館の所蔵する資料による通常の展示（「公立博物館の設置及び運営に関する基準第7条第1項第3号抜粋」昭和48年11月30日付け文部省告示第164号） 【従来のディスカバリールームは】 展示物の大部分がレプリカ（複製品）で構成される、子ども中心の体験室（無料空間）
樹冠トレイル ※H30.11～	空中遊歩道 (<u>無料空間</u>)	・ <u>琵琶湖や屋外展示の森を身近に感じながら</u>、親子で樹木の芽吹きや花、樹木に集まる昆虫や鳥の姿を楽しむことができる施設。 ・ 樹木や昆虫などについて、<u>実際のフィールドで体験できるような学習プログラムを実施。</u>

○ 利用者への周知

第2期リニューアルオープン後の各施設の情報（施設の特徴や有料・無料空間の別等）については、館内各所や総合案内所への掲示、ホームページへの掲載等により、早い時期から時間をかけ利用者に対して周知を図る。

2 県内各地のフィールドへ誘うための活動について

琵琶湖博物館では、「フィールドへの誘い」というテーマを掲げ、館内における展示活動のほか、館内外における観察会・見学会等の交流活動を通じて、県内の各地域(フィールド)に目を向けるためのきっかけとなることを目指している。

(1) 現在の取組

① 展示活動

- ・地域に根差した展示を行い、地域からの情報を反映することで、身の回りのフィールドにある新しい発見を促している。
- ・第1期リニューアルでは、魚のゆりかご水田の紹介や琵琶湖と川や森のつながりを意識した展示、また、日常生活で目にしている魚や水鳥の生態を展示することで、環境・人間・生き物の関係性を理解できるよう工夫している。
- ・博物館の展示空間を、「山門水源の森」や「針江・生水の郷」、「コハクチョウとなかまたち」など、地域で活動されている団体の展示や活動紹介の場として提供している。

② 交流活動

学芸員が各地へ出かけ交流を行う現地観察会、地域連携活動、移動博物館活動や、「はしかけ」「フィールドレポーター」による調査・研究活動等を通じて利用者と博物館との双方向の交流を実施している。平成28年度の活動実績は下記のとおり。

ア 観察会・見学会等 (P5 参照)

化石観察会、朽木の森観察会など館内で8件、館外で4件開催し、合計287名が参加。

イ 地域連携活動 (P6～9 参照)

地域や企業、大学などと連携し、講義等を通じて博物館における展示や研究を伝えながら、地域が行う活動の支援を行うもので、小学校での田んぼの生き物についての講義や実習など、館内で58件、館外で30件開催し、合計3,942名が参加。

ウ 移動博物館活動 (P10 参照)

移動博物館は、移動型の展示キットを各地で展示したり、貸出す事業で、地域にしながら博物館の理念や展示を体感していただくことを目的としている。平成28年度は県内12か所、県外5か所で実施した。

エ 「はしかけ」・「フィールドレポーター」による調査・研究活動（P11～12 参照）

◆はしかけ

参加者自ら企画・運営し、里山体験や田んぼの生き物調査、化石発掘調査などを行うなど、地域の人びとが自主的・主体的に博物館活動に参加する制度で、現在 22 グループ、333 名の登録者が活動を行っている。

例えば、「うおの会」では安曇川など 7 河川で調査を行い、滋賀県の魚類相の解明を行っている。また、「古琵琶湖発掘調査隊」では、多賀町立博物館や地域の方たちと連携して化石の発掘調査や研究活動などを行っている。

◆フィールドレポーター

地域の人びとが、「地域学芸員」として県内の自然や暮らしについて調査・報告し、博物館活動に参加する制度で、現在 201 名が登録されている。平成 28 年度はミノムシ調査などを行い、その調査結果をホームページや展示室内で紹介している。

（2）今後の展開

①展示活動

- ・第 2 期リニューアルでは、標本や剥製など多様な実物資料や研究成果を取り入れた展示などを充実させるとともに、樹冠トレイルを整備し、実際のフィールドを使って体験できるような学習プログラムを実施する。
- ・第 3 期リニューアルでは、琵琶湖地域で発掘された貴重な実物化石（ワニ、ミエゾウなど）や鉱物（トパーズなど）の展示、中近世時代を描いた真景図や当時の暮らしの展示などにより、地域との関わりを感じてもらえるよう展示を再構築する。

②交流活動

- ・旧 UNEP 施設に「地域環境活動交流室」を新設し、「はしかけ」など地域で活動する団体等の活動や日頃の交流機会の充実を図るとともに、これらの団体が一堂に会する「交流会」を開催することで、連携の輪を一層広げていく。また、地域の自然や歴史、文化に関心の高い中高生の研究活動や交流の場としても活用し、学びを深めてもらう機会とする。
- ・環境学習センターでは、環境学習に取り組む地域の団体等の情報を必要とする学校等に直接届けるなど、これまで以上に発信等を積極的に行い、各団体が地域の環境学習の核となるよう、必要な支援を行う。
- ・観察会や見学会については、県内各地のフィールドを活用した、より魅力あるプログラムを実施するとともに、より多くの方が参加されるよう効果的な情報発信に努める。

琵琶湖博物館リニューアルの概要

平成32年度までに3期に分けてリニューアルを行うこととしており、平成29年度は、第2期リニューアルとして交流空間を再整備。

(1) 全体スケジュール等

区 分	第1期リニューアル	第2期リニューアル	第3期リニューアル
リニューアル対象	C展示室・水族展示	交流空間	A・B展示室
概算事業費	総額 約30億円		
	(約15.1億円)	(約6.3億円)	(約8.5億円)

H24 (2012)	「新琵琶湖博物館創造ビジョン」の策定		
H25 (2013)	「新琵琶湖博物館創造基本計画」の策定		
H26 (2014)	設 計		
H27 (2015)	施 工		
H28 (2016)	施工・オープン	設 計	
H29 (2017)		施 工	
H30 (2018)		施工・オープン	設 計
H31 (2019)			施 工
H32 (2020)			施工・オープン

(2) 第2期スケジュール

項 目	平成28年度				平成29年度				平成30年度		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
第2期展示制作業務							・レストラン・ショップ ・わくわく体験スペース		一部 オープン	オープン	・おとなのディスカバリー ・ディスカバリールーム
			実施設計		契約手続		展示工事				
樹冠トレイル整備工事		予備設計 地質調査		詳細設計	積算委託	契約手続		土木工事			オープン
交流・休憩ゾーン整備工事			実施設計			契約手続	建築工事		オープン		

■ 観察会・見学会等の開催状況（平成28年度）

開催日	曜日	事業名	場所	参加者数	共催・協力等
8月6日	土	生き物コレクション（昆虫類）	館内	17	
8月20日	土	生き物コレクション（甲殻類・寄生生物・その他無脊椎動物・固有種）	館内	8	
8月27日	土	生き物コレクション（鳥類）	館内	6	
9月24日	土	マイクロアクアリウム プランクトンでビンゴ	館内	15	
10月2日	日	化石観察会	伊賀市	28	伊賀盆地化石研究会
11月5日	土	朽木の森の観察会 ～新展示ジオラマの本物を見に行こう！～	高島市	11	森林公園「くつきの森」
11月26日	土	秋の里山 宝物をさがしにいこう	大津市	11	カワセミ自然の会
12月3日	土	暮らしと魚	館内	15	滋賀県漁業協同組合連合会青年会・滋賀県水産課
12月4日	日	第2回カヤ・サミットーカヤネズミ保全のための生態研究と展示ー	館内	98	全国カヤネズミ・ネットワーク
12月4日	日	カヤネズミ観察会とカヤストラップ作り	館内	36	富山市ファミリーパーク びわたん
12月24日	土	バイカルの生き物	館内	30	
1月3日	火	お祭り見学会	守山市	12	勝部自治会
合計 12件			287名		

■ 地域との交流活動

(1) 博物館内での支援事業

活動日	参加団体(依頼者)	内容・テーマ	参加者数
4月20日	子どもと自然の研究所	ちっちゃな子どもの自然あそび(ちこあそ)	21
5月8日	京都造形芸術大学大学院	琵琶湖を核とした一般市民との活動・博物館における資料保存	8
5月18日	あさがらの子どもと自然舎	ちっちゃな子どもの自然あそび	21
5月21日	鹿児島大学水産学部	JICA 国際研修事業/持続可能な沿岸漁業コース	10
5月22日	京都文教大学総合社会学部	博物館における資料保存について	15
6月15日	あさがら野 子どもと自然舎	ちっちゃな子どもの自然あそび	21
6月17日	㈱セブン-イレブン・ジャパン	滋賀プロジェクト「びわこの日」勉強会	250
6月26日	関西大学博物館	設立に至る経緯/展示のコンセプト	50
7月26日	佛教大学	博物館実習	23
8月3日	亀山市教育委員合理科部	琵琶湖の生い立ちについて	14
8月3日	奈良・人と自然の会	琵琶湖の自然・歴史・人の暮らし	20
8月4日	上野南部地区住民自治協議会	琵琶湖における外来種植物	37
8月10日	草津市民センター	知ってますか?琵琶湖の話～琵琶湖とフナとフナずしと～	50
8月11日	関西大学・久保田賢一ゼミ	滋賀県の外来魚駆除事業について	20
8月17日	宮津高校フィールド探求同好会	琵琶湖のスジエビについて	20
8月18日	伊川を愛する会	ホタルについて	22
8月20日	草津市観光ボランティアガイド協会	琵琶湖博物館での活動内容や展示及び施設概要	15
8月21日	イオン西大津チアーズクラブ	外来魚釣り・解剖	36
8月25日	愛荘町さわやかまちづくり推進会議	県の石に指定された湖東流紋岩・地震で影響がある鈴鹿西縁断層帯	22
8月26日	(公財)滋賀県建設技術センター	琵琶湖博物館設立の経緯等	24
8月28日	天理大学国際学部外国語学科	琵琶湖が有する様々な価値について	42
9月3日	環境レイカーズ	びわこ今昔物語～環境問題とたちむかう滋賀県民	60
9月3日	生活協同組合コープしが	琵琶湖の在来魚、「琵琶湖八珍」の素材となる魚の生態や特徴、暮らしとの関わり	100
9月10日	福井県自然観察指導員の会	琵琶湖産アユのなわばりと攻撃行動	20
9月13日	岐阜女子大学	琵琶湖博物館の概要説明・展示リニューアルの概要説明・資料管理	55
9月13日・14日	京都府立大学生命環境学部	環境微生物学	10

活動日	参加団体(依頼者)	内容・テーマ	参加者数
9月15日	桜美林大学リベラルアーツ学群	琵琶湖辺の水田における生物多様性と魚のゆりかご水田	16
9月24日	草津青年会議所	滋賀県の外来魚問題の現状	30
9月25日	イオン草津チアーズクラブ	琵琶湖で採集した動物プランクトンの顕微鏡観察	24
9月30日	京都大学農学研究科	琵琶湖辺の水田における生物多様性と魚のゆりかご水田	36
9月30日	龍谷大学農学部食糧農業システム学科	滋賀県の農政とゆりかご水田/変わる暮らし・変わる環境	233
10月6日	たかつぎ市民環境大学	琵琶湖・淀川流域における魚類の多様性の保全について	20
10月7日	龍谷大学農学部食糧農業システム学科	滋賀県の農政とゆりかご水田/変わる暮らし・変わる環境	233
10月14日	泉佐野市土地改良事業団体連絡協議会	滋賀の農業の現状と施策について	30
10月26日	吹田市人権啓発推進協議会千二地区委員会	琵琶湖総合開発について	35
10月27日	福島大学菊池ゼミ	琵琶湖博物館の設置・運営等に関して	9
10月30日	近畿大学農学部水産学科	琵琶湖博物館の仕事、琵琶湖の固有種、滋賀県の外来魚駆除事業	11
11月4日	栗東自然観察の森	琵琶湖博物館周辺の樹木についての観察会	10
11月10日	(株)データ設計	琵琶湖の環境と生物および住民との関わり	17
11月19日	栗東市商工会	琵琶湖の固有種について	9
11月20日	特定非営利活動法人 自然と緑	琵琶湖のプランクトン検鏡観察	70
11月23日	おうみ映像ラボ	見聞会「ごっつおう なれずし ～魚のお供えもの～」	20
11月25日	草津市まちづくりセンター	ハスの生態、外来種オオバナミズキンバイについて	30
12月3日	ながはまアメニティ会議	山と湖の自然環境のつながりについて	45
12月7日	愛壮町秦庄老人クラブ	くらしの変化について	35
12月13日	滋賀県商工会議所女性連合会	リニューアルの経緯とこれからの取り組み	80
12月14日	滋賀県教育委員会	琵琶湖の水環境の変化について学ぶ	32
1月7日	いまづ自然観察クラブ	琵琶湖岸の生態系、外来生物の生態系	15
1月9日	きしわだ自然資料館	カヤネズミ飼育技術および施設	15
1月24日	滋賀大学「学習支援士」会	古琵琶湖について	8
2月2日	せた♪森のようちえん	滋賀県の環境・農について	51
2月8日	滋賀県レイカディア大学	琵琶湖のプランクトンを見てみよう 外来種が脅かす琵琶湖の生物多様性	25
2月11日	京都外国語大学校友会 滋賀支部	魚のゆりかご水田について	30

活動日	参加団体(依頼者)	内容・テーマ	参加者数
2月18日	龍谷大学里山学研究センター	野洲市須原の魚のゆりかご水田	15
2月28日	里環境の会 OPU	ヨシ原の生きものについて(保全と活用)	5
3月9日	岐阜聖徳大学	滋賀県の水産業について	28
3月11日	釣り人による清掃活動	滋賀県の水産業について	5
3月29日	金沢大学大学院 人間社会環境研究科	文化資源学現地研修にかかる小講義とガイド	12

(2) 地域での支援活動

活動日	参加団体(依頼者)	内容・テーマ	場所	参加者数
4月16日	TANAKAMI こども環境クラブ	田上・天神川の中の生き物探し (水辺の生き物見つけよう)	大津市	30
4月19日	大阪府立豊中高等学校 SSH	無脊椎動物の観察 (イカの解剖)	豊中市	18
5月9日	草津市立草津第二小学校	田んぼの生きものについて	草津市	111
6月6日	草津市立笠縫東小学校	ハツタミミズ探し	草津市	108
6月12日	栗見出在家魚のゆりかご水田 協議会	魚のゆりかご水田観察会	東近江市	180
6月18日	公益財団法人国際湖沼環境委員会	水田の一年/田んぼの生き物	野洲市	10
6月25日	滋賀県立大学同窓会「湖風会」 滋賀支部	琵琶湖の誕生	彦根市	30
7月17日	守山市勝部自治会	第8回かつべ水フェスタ	守山市	235
7月24日	認定NPO 法人びわこ豊穡の郷	琵琶湖～赤野井湾の生い立ち	守山市	60
7月28日	守山市下之郷遺跡公園	魚つかみと観察	守山市	20
8月2日	快適環境づくりをすすめる会	川の生き物観察会	彦根市	30
8月18日	守山市下之郷遺跡公園	魚つかみの成果とお話し	守山市	20
9月3日	TANAKAMI こども環境クラブ	田上山秋の自然観察	大津市	20
9月25日	森林マッチングセンター運営 協議会	気候の変化で森はどう変わってきたか	長浜市	100
9月30日	琵琶湖の水と環境を守る会	オオバナミズキンバイなど外来水草問題	大津市	10
10月29日	TANAKAMI こども環境クラブ	植物を知ろう～水辺の植物の調べ方を学ぶ～	大津市	20
11月5日	TANAKAMI こども環境クラブ	田上山の自然観察 哺乳類編	大津市	20
11月11日	立命館守山高校	Lake Biwa International Science Fair (貝類の分類)	守山市	40
11月29日	愛東南小学校	キャリア教育～仕事人と語ろう～	東近江市	40
11月30日	渋川小学校	ふなずし試食会	草津市	100
12月4日	吹田市環境部環境政策室	すいたまちなか水族館・生物多様性学習 講座	吹田市	60

活動日	参加団体(依頼者)	内容・テーマ	場所	参加者数
12月5日	日本産動物研究会	かやねずみの生息場所の解説	近江 八幡市	20
12月13日	ヤンマーミュージアム	ビオトープ維持・管理	長浜市	20
12月21日	京都新聞文化部	疏水の生き物、水辺の生き物 人間の暮らしとの関わりをめぐって	京都新聞 文化部	60
1月8日	大阪府立大学 里環境の会 OPU	博物館の仕事について	堺市	50
1月16日	米原市	ビワマスの生態について	米原市	40
2月7日	逢坂小学校	エコスクール支援委員会	大津市	20
2月18日	多賀町教育委員会	「『蜂にさされたほうがまし』の真実～多賀の祭りを支えた人びと～」	多賀町	50
2月19日	滋賀県 農政課	「世界農業遺産」認定をめざして 第2回 シンポジウムリレートーク 研究者の視点	大津市	100
2月22日	成安造形大学	琵琶湖の民族史	大津市	100

■ 移動博物館

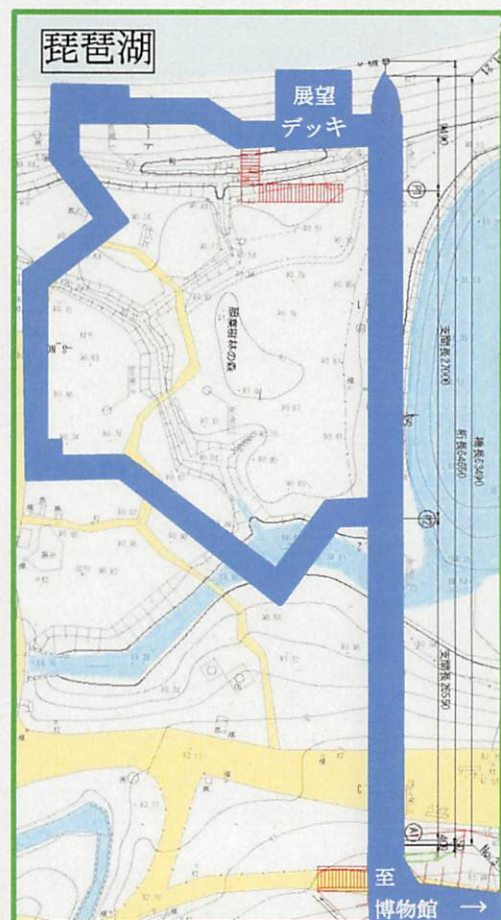
開催日	イベント名	会場
5月3日～5日	KYOTO STATION BUILDING KIDS DAY	京都駅ビル 駅前広場 (ホテルグランヴィア京都前)
7月2日～3日	7月1日「びわ湖の日」びわ湖の恵み再発見!	イオン西大津店
7月18日	第10回博物館夏祭り	ビバシティ彦根
7月23日～24日	琵琶湖移動博物館	ピエリ守山
7月30日～31日	We♥SHIGA ～知る、楽しむ、エコする。～	イオンモール草津
8月11日～14日	琵琶湖ホテル 夏休みイベント	琵琶湖ホテル
9月17日～18日	イナズマロックフェス (琵琶湖博物館ブース内)	烏丸半島芝生広場
9月24日～25日	～海と日本プロジェクト～BIWAKO 湖フェス (滋賀県ブース内)	びわこボートレース場
10月8日	琵琶湖環境保全再生法シンポジウム 暮らしの宝湖「琵琶湖」のために 私たちができること	びわ湖プリンスホテル
10月19日～21日	びわ湖環境ビジネスメッセ 2016 (滋賀県ブース内)	長浜バイオ大学ドーム
10月27日	滋賀ふるさと市場	自由民主党本部前 (東京都千代田区)
11月19日～20日	琵琶湖博物館がやってくる!!	イオン近江八幡店
11月27日	ダイハツ工業株式会社滋賀テクニカルセンター25周年祭	ダイハツ工業株式会社滋賀テクニカルセンター
12月4日	「びわこ×さかな×すいた」～琵琶湖博物館がやってくる!～	千里市民センター (大阪府吹田市)
12月10日～11日	京都環境フェスティバル 2016 (滋賀県ブース)	京都府総合見本市会館 (京都市伏見区)
12月18日	日本創生のための将来世代応援知事同盟 共同事業「第2回いいね! 地方の暮らしフェア」 (滋賀県ブース内)	東京国際フォーラム (東京都千代田区)
1月23日～27日	龍谷大学との連携による琵琶湖の発信	龍谷大学瀬田キャンパス

■はしかけグループの活動紹介

グループ名	活動内容
うおの会	お魚取りの大好きな方々が、魚取りを楽しみながらともに調査を実施している。2000年に設立され、滋賀県内の魚類分布調査や、法竜川での定点調査を実施している。
淡海スケッチの会	近江（淡海）の自然を観察し、絵画や文学というかたちで表現することを目的として、2015年に設立された新しいグループ。
近江の巡礼の歴史勉強会	近江の地で長らく信仰の対象であった社寺巡礼について、その歴史的背景や現状調査を視野に入れて調べている。
近江はたおり探検隊	2004年に結成。近江の機織り文化を発掘し、ほんものの糸、布作りを再現し、その技を次の世代へ伝えていくことを目的に、はたおり体験や研究会、道具製作や綿や藍などの栽培、そして実際の糸や布作り（織り姫の会）を行っている。
大津の岩石調査隊	大津界隈の特に音羽山の吾妻川、相模川、三田川の源流域ぞいを歩いて、岩石をみていくというような調査を中心に行っている
温故写新	写真とカメラを愛し、撮影を楽しむ人たちの集まり。感動的な美しい生命の活動、人の生活や自然の移りゆく様を記録に残すことを目的とする。博物館の映像資料整理の協力をするなど様々な活動をしている。
暮らしをつづる会	地域の暮らしやその記憶を、地域の人たちの手で記録していく活動をしている。聞き書き、自分誌、地域誌、考現学など、暮らしの記憶や今を記録する活動を行っている。
古琵琶湖発掘調査隊	多賀町で180万年前の古琵琶湖層群の調査を行うため、市民参加の人たちを指導し、自らも研究できるような人材になることを目指し活動している。地質やさまざまな化石の勉強を毎月1回行いながら、町内での発掘も行い成果を出している。
湖(こ)をつなぐ会	子ども達が歌ってくれるよう作った、新しい琵琶湖の歌「生きている琵琶湖」を広める活動を行う。普段の生活の中で琵琶湖をもっと身近なものに感じられるように、紙芝居「びわこの旅」をあわせて上演活動を行う。
ザ・ディスカバはしかけ	ディスカバリールームを利用しながら、展示作りやイベントに関わることを目的としている。現在、イラストや裁縫、人形劇が得意な方が、スタッフと一緒に展示の修復、新しい展示の制作、イベント開催に携わっている。
里山の会	里山体験教室の活動、季節ごとの植物観察会、昆虫観察、キノコ観察、里山暮らし体験などに参加するとともに、会独自で荒れた里山林の復活や、そばづくり、里山の粘土で作ったオカリナ演奏会などの活動を行う。

グループ名	活動内容
たんさいぼうの会	珪藻の造形の美しさにのめり込んだ人たちの集まり。川や湖沼へ皆で珪藻を採りに行き、顕微鏡写真を撮影している。会員は独自の研究テーマを持ち、研究成果を学会発表や論文に著したりしている。
田んぼの生きもの調査グループ	田んぼの生き物を追いかける方の集まり。滋賀県におけるホウネシエビ、カブトエビ、カイエビといった田んぼのエビ（大型鰓脚類）を中心とした、田んぼの生き物の分布および生態調査を行っている。
タンポポ調査はしかけ	5年ごとに実施される「タンポポ調査・西日本 2015」という広域調査に協力するために発足した。調査終了後は各自がテーマを決めてタンポポを調べる活動をしている。
ちっちゃなこども自然あそび	幼児と保護者を対象とした琵琶湖博物館で自然・生活体験活動を行っており、その活動を幼児向けの博物館プログラムの開発や研究につなげていくことを目指す。2016年8月発足。
琵琶湖の小さな生き物を観察する会	琵琶湖などの小さな水生生物を観察・記録することを目的として発足した。琵琶湖の小さな水生生物を採集し、博物館で顕微鏡観察している。毎年、会として重点的に観察する生物群を相談して決めている。
びわたん	博物館の楽しみ方や自然と文化の素晴らしさを人々に伝えることを目的として発足した。交流事業「琵琶湖博物館わくわく探検隊」（毎月第2土曜に実施）を、博物館職員と共に企画・運営している。
ほねほねくらぶ	現生動物の骨格標本製作をしていて、他に毛皮の制作やレプリカの製作なども行っている。各々の探究心を満たし、技量を磨く中で、完成した標本が多くの人々の興味を引き、活用されることを目指している。
緑のくすり箱	民間伝承の薬草を使った健康法を現代生活に活かし、森林と湖の関係について学ぶ活動を行う。森林セラピー、健康ジュースや健康茶ブレンドづくり、薬膳料理などの体験や甲賀の薬についての歴史探訪などを行う。
虫架け	滋賀県内の昆虫の分布調査を行うことを大きな活動内容にしている。また、採集方法等講座や昆虫分類等の講座、昆虫標本の作り方教室の開催を通じて昆虫についての基本知識の周知行っていこうと考えている。
森人	博物館の屋外展示の森を活用したガイドツアーや樹木の解説看板の設置などを博物館と共に行っている。2015年度のはしかフェの活動から生まれたグループ。

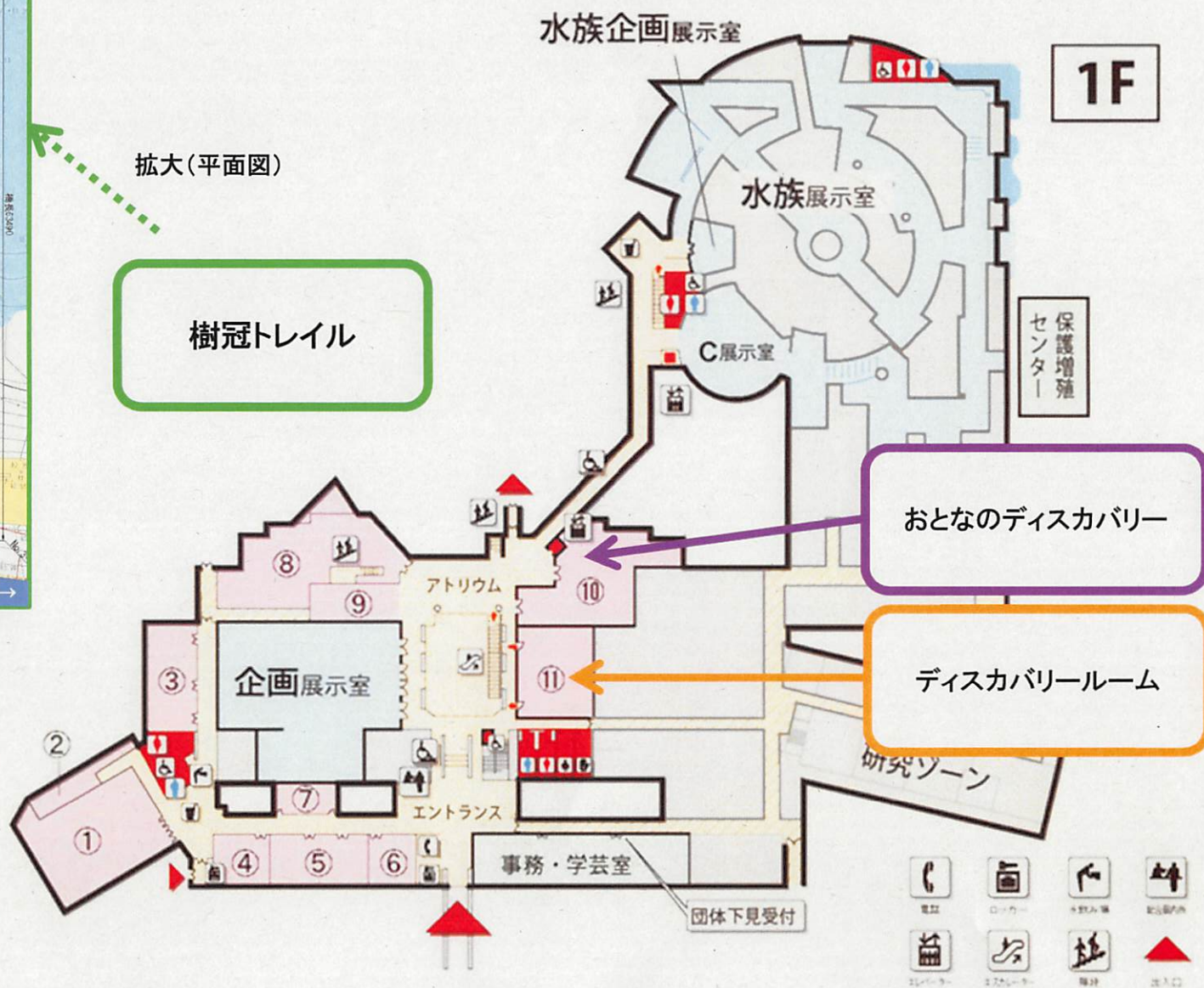
琵琶湖博物館1階 平面図



拡大(平面図)

樹冠トレイル

1F



- ① ホール
- ② ホール準備室
- ③ セミナー室
- ④ 実習室 1
- ⑤ 実習室 2/ 生活科学実習室
- ⑥ 会議室
- ⑦ 交流室 1,2
- ⑧ ミュージアムレストラン「にほのうみ」
- ⑨ ミュージアムショップ「おいでや」
- ⑩ 情報センター (新空間/図書室)
- ⑪ ディスカバリールーム (16:30 まで)
- ⑫ カフェテリア
- ⑬ 屋上広場